

society&business Tokyo25 journal

25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com



■左のQRコードでアクセスし、バックナンバーが読めます。

社会福祉法人緑水会

40周年記念誌を発行

「みんなが豊かな地域社会の創造」への歩み振り返る

榎原村の社会福祉法人緑水会(中村甚継理事長)はこのほど、設立40周年記念誌を発行した。記念誌制作を通じ、「みんなが豊かな地域社会の創造」を標榜して歩んできた40年を振り返ると共に、目標とする「信頼される施設づくり、真摯なサービスの提供、心のこもった介護と看護」になお一層取り組んでいくことを確認した。

同法人は1981年3月に認可され、同年12月、同村人里に特別養護老人ホーム松原苑を開苑した。98年に精神障害者就労を支援するひのきのそのを、2003年に精神障害者地域生活支援センターのフィレを相次いで開設。高齢者、障がい者らが地域で安心して生活できる社会福祉施設経営を目指し、地域の社会的な支持を受けながら職員一丸で各事業に取り組んできた。15年には同村笹野にユニット型の新ホームを竣工。積極

職員が力を合わせ製作した40周年記念誌を持つ岡部施設長



職員が力を合わせ製作した40周年記念誌を持つ岡部施設長

巴さん、いずれも評議員の山崎源重さん、福田宮夫さんが寄稿。このうち中村理事長は「40年の間、様々な議論と制度改正の中で、苦心惨憺、維持し続けられたのも職員

の努力と地域のみならず、利用者、家族の理解と支援があったから

に、地域と交流を行う。2003年に精神障害者地域生活支援センターのフィレを相次いで開設。高齢者、障がい者らが地域で安心して生活できる社会福祉施設経営を目指し、地域の社会的な支持を受けながら職員一丸で各事業に取り組んできた。15年には同村笹野にユニット型の新ホームを竣工。積極

担に変化してきた。高齢化率が50%を超え、今後の日本はどのような時代を榎原村では40年も前に実感しながら乗り越えてきた」と心境を吐露した。山崎さんは「東京23区が財政的に優先的に入所できる施設を探していたとき、財政を補えば安定した施設運営が可能だと、そうした選択を提案したとき、中村理事長は『それだけはやりたいくない』と村民優先の施設であることを貫いた」と述べた。村民は国民年金加入者が多く、入所する場合は、施設の持ち出しが発生するなどの課題がある中、役員員の気持ちは村民優先で揺るがなかったことを踏まえ、「同地に松原苑があること、携わることが私の自慢」と明かした。



を率直に話したほか、今後の展望などが語られている。この中で、中村理事長は「40年間言い続けてきた『自分が入居したい施設』を常に念頭に置き、今後も職員全員が邁進していくことを望んでいる」、岡部施設長は「地域を大切にしたい」と愛される施設でなくてはならないと次の世代に伝え、育てていくことが1番の課題」とした。

このほか中村理事長をはじめ同法人をけん引する松原苑の岡部義和施設長、同苑の渡邊昇副施設長、生活支援センターフィレの加藤

特養 西多摩に62施設

松原苑は榎原村初の特別養護老人ホームとして1981年に開設された。88年に松原サナホームができ、村内には2つある。島しょを含め都内の特別養護老人ホームの数は2021年の調べで572施設、定員数は1929年に制定さ

その富永知里施設長による座談会も掲載。写真、事業に取り組む中で苦しかったことやうれしかったことなど

れた救護法で、疾病、貧困などで生活が困難な人の保護を目的に養老院がつくられたのが養護老人ホームの始まり。1963年に制定された老人福祉法で老人ホームが規定され、養護老人ホームの類型として特別養護老人ホームが誕生、要介護者の介護を主な目的として

石川酒造株式会社

福生市の気軽に遊びに行ける酒蔵



東京都福生市熊川1番地 石川酒造

季節のお酒

八重菊復刻ラベル生酒
あきる野市産コシヒカリで造りました。江戸時代のラベルを復刻した鮮やかなラベルが印象的。まろやかで豊かな香り、しつかりとした米の旨み、爽やかなあどくちの日本酒です。

お酒は20歳になってから。

DUSK!N

お部屋のお掃除
お庭のお手入れ

喜びのタネをまこう

プロのおそうじ
ServicEMASTER.

緑と花のお手入れ
TotalGreen



お庭のお手入れ



エアコン清掃

ダスキンフランチャイズチェーン加盟店

ダスキン小作店

☎042-533-4506

〒205-0001 羽村市小作台2-12-1